

新晃工業（大阪市北区、社長・末永聡氏）は、ABEJA（東京都港区、社長・岡田陽介氏）とセントラル空調機の設計に関する業務効率の向上を目的とした新たなサポートシステム「SIGNKO AI Design Link」を開発し、発売した。

新晃工業が保有する膨大な設計データや技術データを活用し、検索のみならず設計の分析、深掘り、指南など多目的に活用することが可能なシステムである。また自然言語を用いたチャット形式のUIの実装には「ABEJA LLM Series」を利活用しユーザビリティの向上を実現する。AI技術により設計現場における技術伝承のスピードを引き上げ、ポルトネックになりがちであった設計技術者不足への対応と顧客へのサービス向上を進めている。

を専門とする中、顧客ごとに異なる要求に応じた製品を提供できる技術が求められ、設計業務がビジネスの価値を決める重要な要素として、顧客ご

AIを用いた社内向け設計サポートシステムを開発

新晃工業・ABEJA

きたため標準化は難しく、ベテラン設計者にアドバイスの要請やレビューの依頼が集中し、人材育成の負担が増大している状況にある。

この課題解決にあたり、従来、属人的に行われていた設計業務に関する複雑な情報のデータ化を図り、生成AIの一つである大規模言語モデル（LLM）を活用したチャット形式のUIで、設計者が自然言語を用いて質問や情報要求を入力し引き出すことが可能な新システムを構築した。同システムの構築にあたり、社内のベテラン設計者が担ってきた設計業務に関するノウハウや知識、過去の案件情報、不具合情報などの情報を集約・データ化した上で、LLMを活用し、検索と組み合わせた設計に必要な分析、深掘り、指南などの機能を利用性高く活用できるように実装している。

製品の提供を強みとしている。